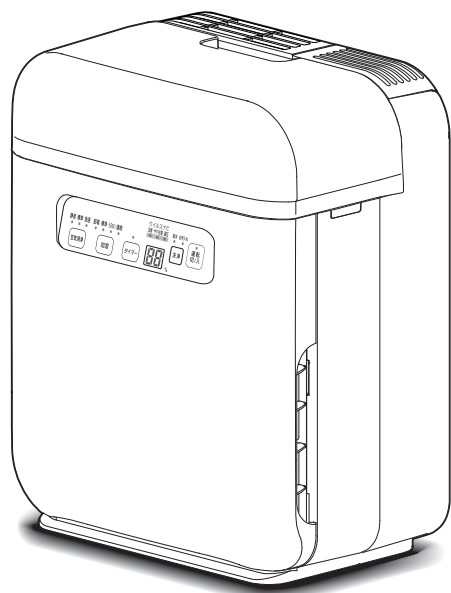


空気清浄機能付加湿器

RSA-401

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6

取り扱いかた

準備	8
使いかた	10
お手入れ	12

こんなときには

別売品	18
故障かな？と思ったら	19
仕様	22
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



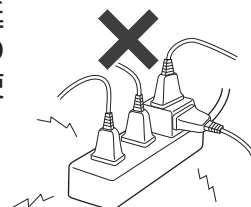
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、はさみ込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



接触禁止

- 蒸気口に手や顔を近づけない
やけどのおそれがあります。特に乳幼児には注意してください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 屋外で使わない
故障してショートや火災の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

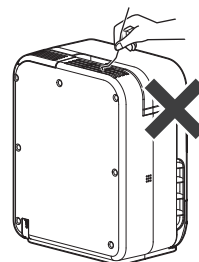


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 吹き出し口や吸気口に指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

水タンクの水について



- 毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発生したり健康を害する原因になります。
- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
- 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる
凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



- 水道水以外は使用しない
40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
空気清浄機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

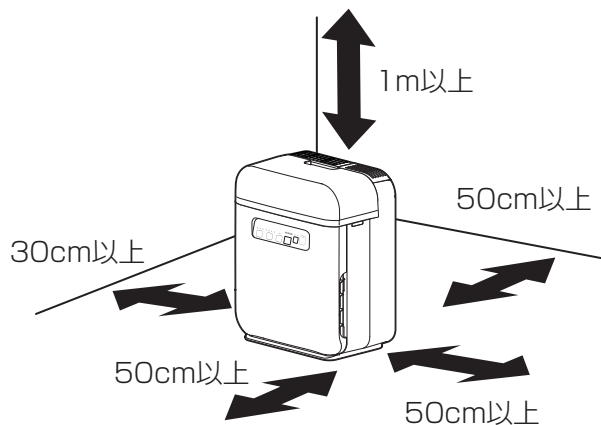


- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。

設置について



- 空気清浄機の風や加湿器の蒸気が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
空気清浄機の吹き出し口や加湿器の蒸気口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災の原因になります。
また、台の上に設置すると、落下してけがや火災の原因になります。



- 暖房器具・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 吸気口・吹き出し口・蒸気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
火災の原因になります。
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子供に遊ばせない
転倒によるけがの原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 水タンクに水が入ったまま移動しない
水タンク・加湿器内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。
移動するときは、水タンク・加湿器内部の水を捨ててください。

● 転倒させない

水もれや火災の原因になります。
転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。



- 移動するときは、本体の底を持つ
水タンクやフロントパネルを持つと、外れて落下するおそれがあります。ただし、水が入っているときは移動しないでください。

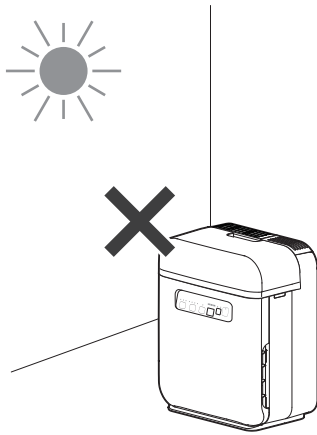


- 水タンクや加湿器の部品を正しく取り付け
水もれや周囲の水ぬれの原因になります。
- 空気清浄機のフィルターは正しく取り付け、フロントパネルは確実に閉める
フロントパネルやフィルターが外れて、落下によるけが・家財の破損の原因になります。

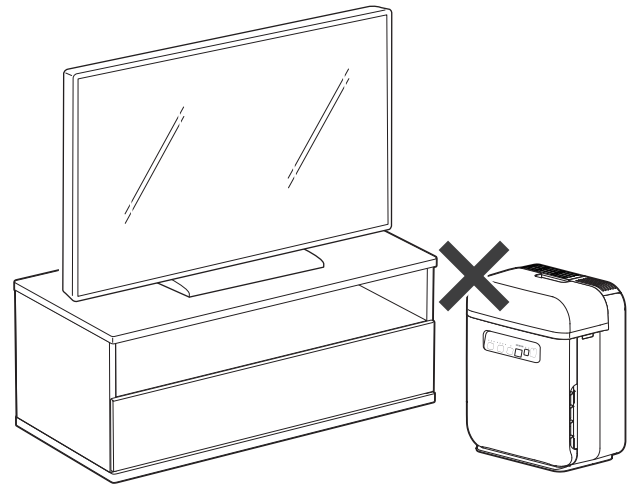
使用上の注意

- フィルターを外したまま運転しないでください。
清浄効果が出ません。また、故障の原因になります。
- 破れたり、破損したフィルターは使わないでください。
故障・性能低下の原因になります。
- 蒸気口キャップ・安全カバー・加湿トレー・カップ等を外したまま運転しないでください。
やけど・けがの原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 換気扇のかわりに使わないでください。
- 食用油など油成分の浮遊している場所で使わないでください。
フィルター寿命が低下したり、故障の原因になります。
- 破れたり、破損したフィルターは使わないでください。
故障・性能低下の原因になります。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、誤動作することがあります。
また、水タンクの温度が上昇して水もれの原因になります。



- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かないでください。
正常に動作しないことがあります。
- ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

使用環境について

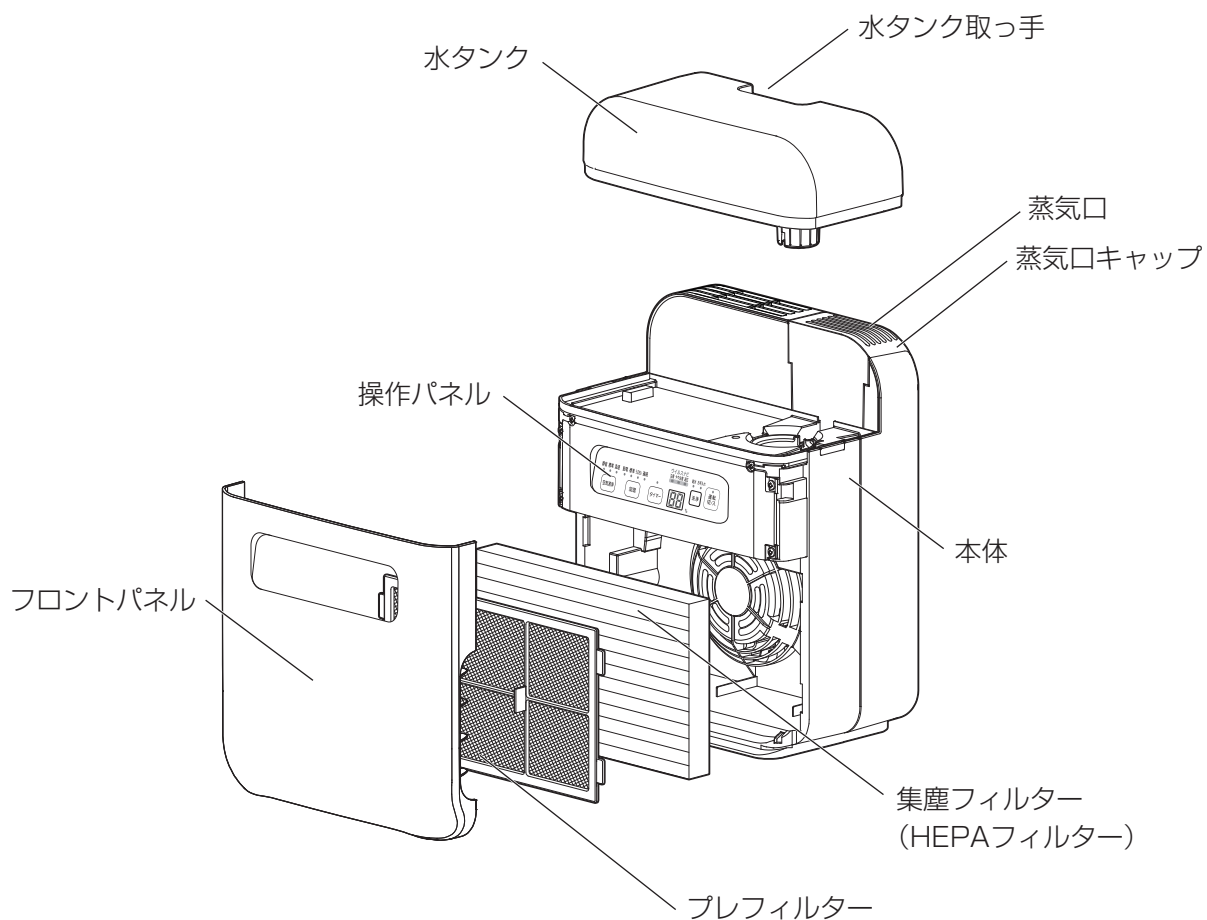
- 室温は5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。
加湿モードを切り替えたり、室温を上げたりして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
- 空気清浄機の周囲の壁などが汚れることがあります。
同じ場所で長時間使用する場合は、汚れが気になりだす前に周囲の壁などを掃除してください。
- 観葉植物などに空気清浄機の風が直接当たらないようにしてください。
植物がしおれることがあります。
- 水平で安定した床の上で使用してください。
本製品に内蔵された転倒時安全防止装置が働くと、電源が切れることがあります。

廃棄について

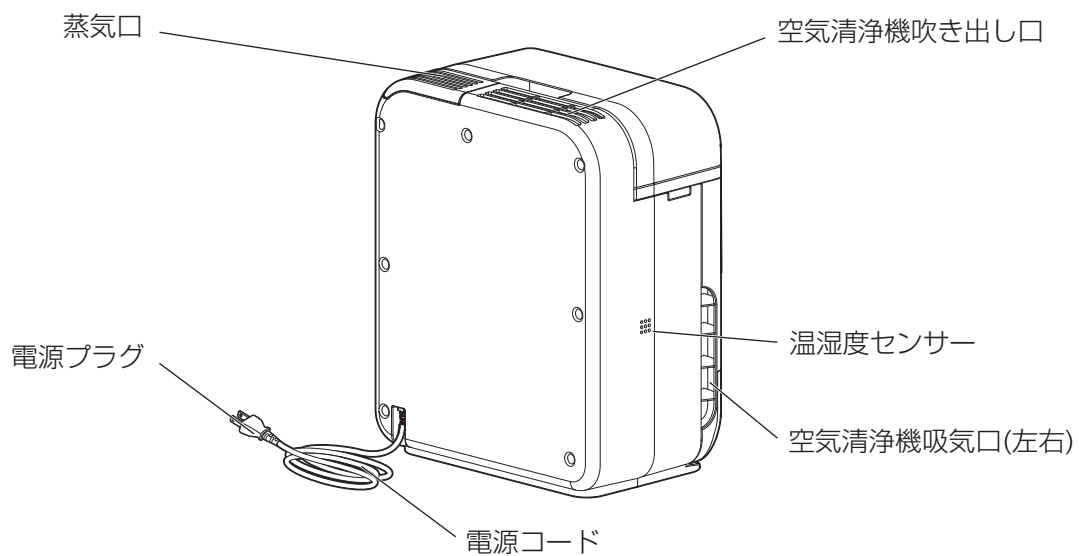
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

■正面



■背面



■操作パネル

加湿ボタン・ランプ

加湿の運転を切り替えます。ボタンを押すたびに以下のように切り替わります。(→P10、11)

節電 → 標準 → うるおい → 連続
↑ 切 (消灯) ↓

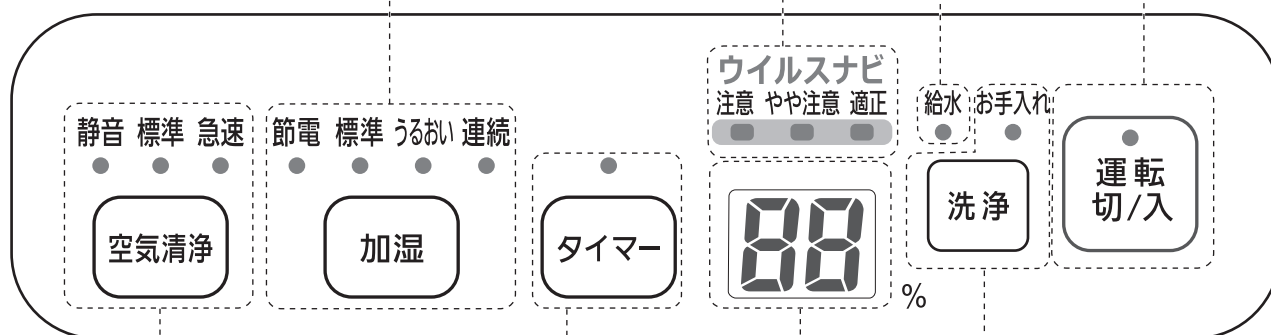
ウィルスナビ

温度と湿度（相対湿度）を測定して、空気中の水分量（絶対湿度）が適正かどうかを表示します。

給水ランプ

水タンクが空になると点灯して、加湿を停止します。水タンクに給水してセットし、電源を切/入すると消灯して加湿を再開します。(→P11)

運転 切/入
ボタン・ランプ
電源を切/入します。



空気清浄ランプ・ボタン

空気清浄機の風量を切り替えます。電源を入れた前回と同じモードで運転が始まります。(初期状態は静音モードから始まります。) ボタンを押すたびに以下のように切り替わります。(→P10)

静音 → 標準 → 急速
↑ ↓

運転中に長押しすると、ランプの明るさを調節することができます。(→P11)

表示画面

現在の湿度を計測して表示します。最適な湿度になるように、加湿モードを切り替えるなどしてください。また、**タイマー**ボタンを押すと残りの時間が表示されます。

タイマーランプ・ボタン

加湿運転中のときのみ使用できます。ボタンを押すたびに以下のように切り替わります。設定したい時間に合わせて長押しすると、ランプが点灯しタイマーがスタートします。(→P11)

1h → 2h → 3h → 4h → 5h → 6h
↑ ↓

加湿タイマー設定中に**タイマー**ボタンを押すと、表示画面が湿度表示から残り時間表示に切り替わります。約3秒経過すると加湿タイマーの残り時間表示から湿度表示に切り替わります。加湿タイマーを解除する場合は、**タイマー**ボタンを長押ししてください。

お手入れランプ・洗浄ボタン

加湿ヒーターのお手入れ時期になると点灯します。**洗浄**ボタンを押してヒーターを洗浄するとランプは消灯します。(→P15、16)

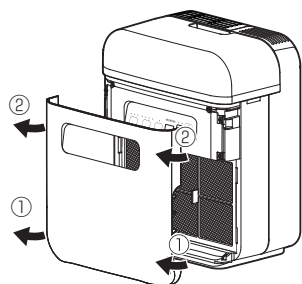
準備

■フィルターの取り付け

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずフィルターの取り付けを行ってください。

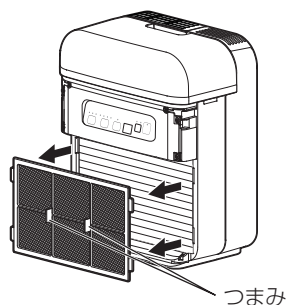
1 フロントパネルを外す

- ・フロントパネル下側を引いて外し (①)、手前に引いて外します (②)。

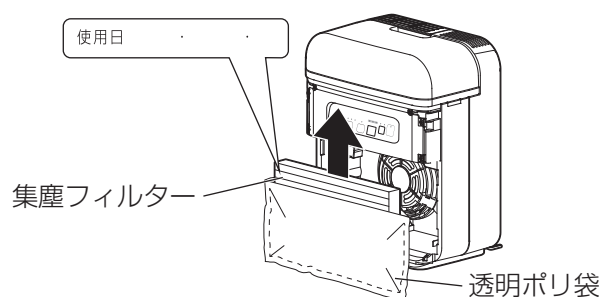


2 プレフィルターを外す

- ・正面のつまみを手前に引いて外します。



3 空気清浄機内部から集塵フィルターを外し、透明ポリ袋から取り出して、使用開始日を記入する

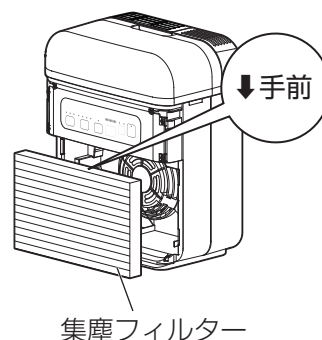


- 品質保持のため、集塵フィルターは透明ポリ袋に入ったままになっています。使用開始前に、必ず透明ポリ袋から取り出してください。

4 集塵フィルターを取り付ける

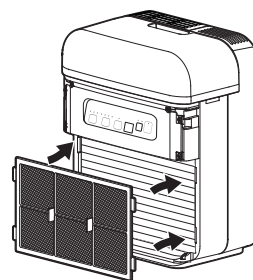
- ・集塵フィルターは ↓手前 の向きがフロントパネル側になるように取り付けます。

※ 集塵フィルターを裏返しに取り付けると、集塵性能が十分に発揮できません。



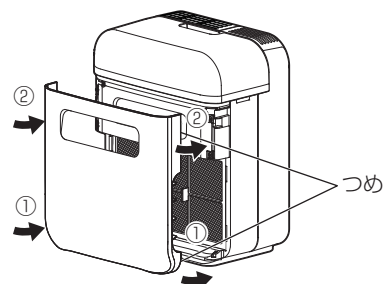
5 プレフィルターを取り付ける

- ・側面のつまめ (4か所) を本体側の穴に差し込みます。

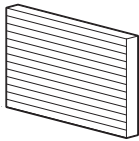


6 フロントパネルを取り付ける

- ・下側のつまめがパチンとはまるように押し込み (①)、フロントパネル上側のつまめを差し込みます (②)。



■フィルターで捕集できるもの

プレフィルター  ペットの毛、ほこり・ちり
集塵フィルター（HEPAフィルター※）  たばこの煙、花粉やアレル物質、かびの孢子など

※ HEPAフィルターについて

0.3 μ m（マイクロメートル）のちりやほこりを99.97%捕集する性能を有しています。

（JIS B9908（換気用エアフィルタユニット・換気用電気集じん器の性能試験方法）に準じた試験方法による）

※ フィルター単体の性能であり、実使用空間での性能ではありません。

■水タンクに給水する

加湿運転するときは、水タンクに給水してください。

※ 空気清浄運転だけのときは、水タンクに給水の必要はありません。

1 水タンクを外す

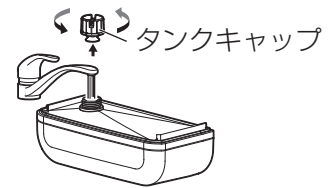
- ・ 水タンク取っ手に手をかけ、上に持ち上げてください。



注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やタンクキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

2 タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる



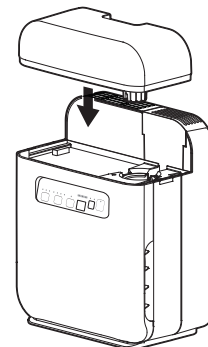
注意

- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水ぬれや周囲の汚損の原因になります。

3 タンクキャップをしっかりと閉め、水タンクを本体にセットする

※ 水タンクをセットするときは上から落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。

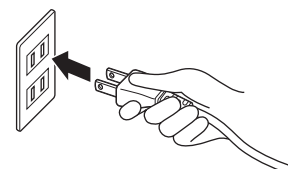
※ 水タンクが斜めにセットされないように注意してください。



注意

- タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりとすると、水がこぼれて感電・火災・周囲の汚損の原因になります。

■電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた

■ 運転を開始するには

- 運転 切/入 ボタンを押すと、ランプが点灯し、静音モードで空気清浄機の運転を開始します。
- 加湿をする場合は、加湿 ボタンを押して加湿モードを選んでください。



■ 運転を停止するには

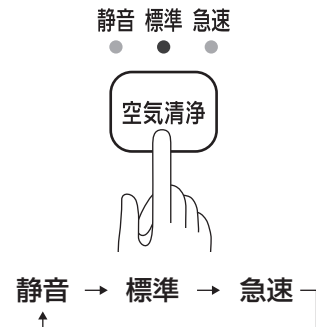
- 運転中に運転 切/入 ボタンを押すと、ランプが消灯し、運転が停止します。



- 長期間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。(→P13)

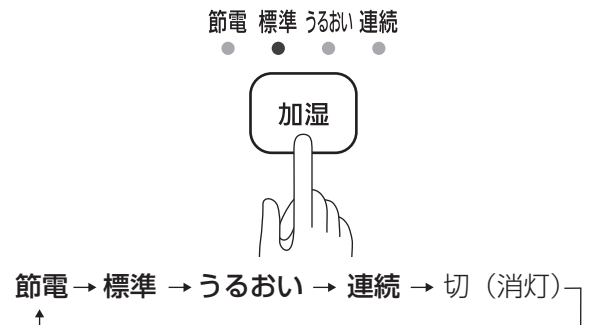
■ 空気清浄風量の切り替え

- 運転中に空気清浄 ボタンを押すと、次のように風量が切り替わります。



■ 加湿モードの切り替え

- 運転中に加湿 ボタンを押すと、次のように加湿のモードが切り替わります。
- ※ 給水ランプが点灯しているときは、加湿 ボタンを押しても加湿になりません。



節電

目標湿度を約50%に設定して、加湿量を自動で調節します。節電運転するときを選んでください。(湿度が約50%に達すると加湿を停止し、湿度が下がると加湿を再開します。)

標準

目標湿度を約60%に設定して、加湿量を自動で調節します。(湿度が約60%に達すると加湿を停止し、湿度が下がると加湿を再開します。)

うるおい

目標湿度を約70%に設定して、よりパワフルに加湿します。

うるおいが足りないと感じたときなどに使用します。

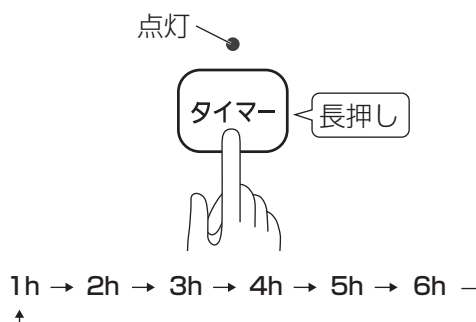
連続

お部屋の湿度に関係なく、連続で加湿します。窓や壁など結露がしやすくなりますので、気になる場合は他の運転モードに切り換えてください。

■加湿タイマー

加湿タイマーで加湿を停止する時間を設定します。

- ・ **タイマー**ボタンを押すたびに表示画面の設定時間が切り替わり、長押しするとランプが点灯し加湿タイマーがスタートします。



- ・ 加湿タイマーで設定した時間が経過すると、加湿が停止します。

※ 空気清浄機は運転をつづけます。

■ランプの明るさ調節

就寝時などに、操作パネルのランプの明るさを減少させることができます。

- ・ 運転中に**空気清浄**ボタンを3秒間長押しすると、ランプの明るさが減少します。



- ・ 再度**空気清浄**ボタンを3秒間長押しすると、ランプの明るさは元に戻ります。
- ・ 電源を切/入したときは、通常の明るさに戻ります。

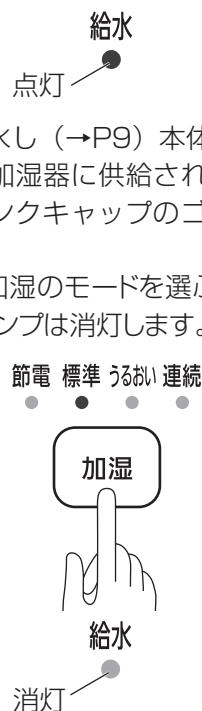
■湿度表示

操作パネルの表示画面は相対湿度が表示されます。
加湿タイマー設定時でも湿度は表示されます。



■給水ランプが点灯したら

- ・ 加湿中に水タンクの水がなくなると、加湿が停止してアラームが鳴り、**給水**ランプが点灯します。(加湿のモードのランプは消灯します。)
- ・ **給水**ランプが点灯しても、空気清浄機は運転をつづけます。



- ・ 水タンクに給水し (→P9) 本体にセットして、水タンクの水が加湿器に供給されるまで少しお待ちください (タンクキャップのゴボゴボ音が消えるまで)。
加湿ボタンで加湿のモードを選ぶと、加湿を再開します。(給水ランプは消灯します。)

- ※ 水タンクをセットしても、加湿器内に水が十分に供給されないと、**加湿**ボタンを押しても加湿が始まらないことがあります。
- ※ 加湿器内に水が残っているときは、水タンクを取り外しても、**給水**ランプは点灯せず、加湿運転は停止しません。
加湿運転を停止する場合は、**加湿**ボタンまたは**運転切/入**ボタンで停止してください。
- ※ 点灯している**給水**ランプを消灯させたいときは、**運転切/入**ボタンを押して電源を切ってください。

使いかた つづき

■ ウイルスナビ

ウイルスナビは、部屋の温度と湿度を測定し、空気中に含まれる水分量（絶対湿度）が適正であるかどうかをお知らせするものです。

ウイルスの活動を抑えるためには、空気中の水分量を一定の値以上に維持することが必要になります。ウイルスナビはその目安を示します。

ウイルスナビ
注意 やや注意 適正

適正（緑）	絶対湿度 11 g/m^3 より多い 温度・湿度を維持
やや注意（オレンジ）	絶対湿度 11 g/m^3 以下 温度・湿度の低下に注意
注意（赤）	絶対湿度 7 g/m^3 以下 温度・湿度を上げる必要あり

- 本製品に暖房機能はありません。室温を上げる必要があるときは、暖房器具などを併用してください。
- 本製品は医療器具ではありませんので、ウイルスを抑制することを目的としたものではありません。

■ 相対湿度と絶対湿度について

湿度には、相対湿度と絶対湿度があります。

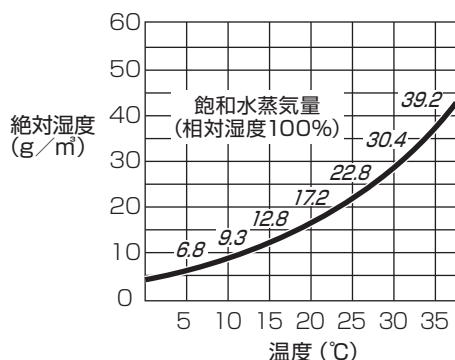
相対湿度：空気中に含むことができる水分量（飽和水蒸気量）に対して、実際に含まれている水分量を表します。

絶対湿度：単位容積に含まれる水分の量を表します。ウイルスナビは絶対湿度の目安を表示します。

相対湿度は気温によって大きく変わります。

気温が下がると飽和水蒸気量が下がるので、それまで含まれていた余分な水蒸気は結露したり霧になったりして液体の水になります。

水を入れたコップや冬季の窓に結露するのは、空気が冷やされて飽和水蒸気量が変わるためです。



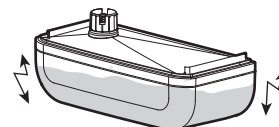
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

■ 水タンク 毎日

水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗います

※ 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。



注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やタンクキャップキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

■加湿器内部

2週間に1回程度

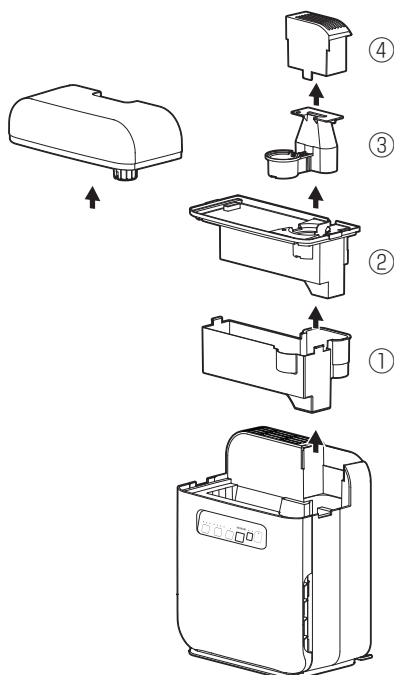


注意

- 加湿器内部をお手入れするときは、電源を切り、加湿器内部が十分に冷めてから行ってください。

1 水タンク・④蒸気口キャップ・③安全カバー・②加湿トレー・①カップの順に取り外す

※水がこぼれないように、カップはまっすぐに静かに引き上げてください。

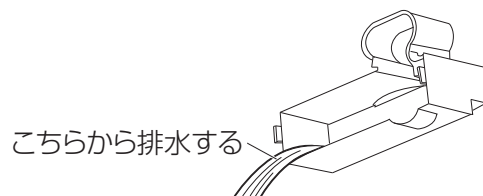


注意

- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やタンクキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

2 カップに残っている水を捨てる

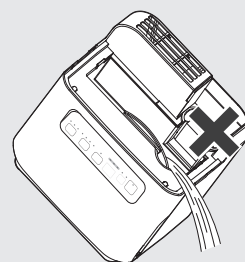
- ・カップにはヒーター用の穴があいています。穴から水がもれないように、穴の反対側から排水してください。



- 本体を傾けて排水しないでください。水がこぼれて周囲を汚損する原因になります。

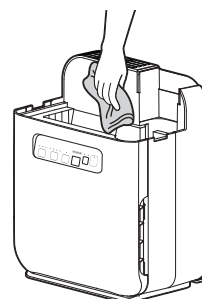


注意

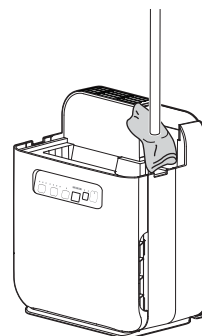


3 柔らかい布で本体内部の汚れを拭き取る

- ・ヒーター・加湿器内部は、残った水をよく拭き取ってください。



- ・加湿器内部の奥のほうは、柔らかい布などを入れて、棒などを使用して、奥の方の水を拭き取ってください。

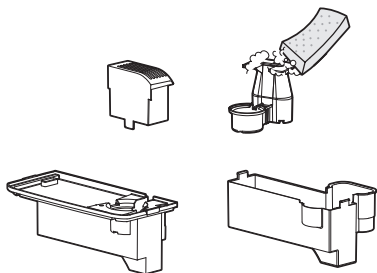


※ヒーター周辺にこびりついた汚れが落ちにくい場合は、「加湿ヒーターのお手入れ」(→P15～17)を行ってください。

お手入れ つづき

4 蒸気口キャップ・安全カバー・加湿トレー・カップをスポンジなどで洗う

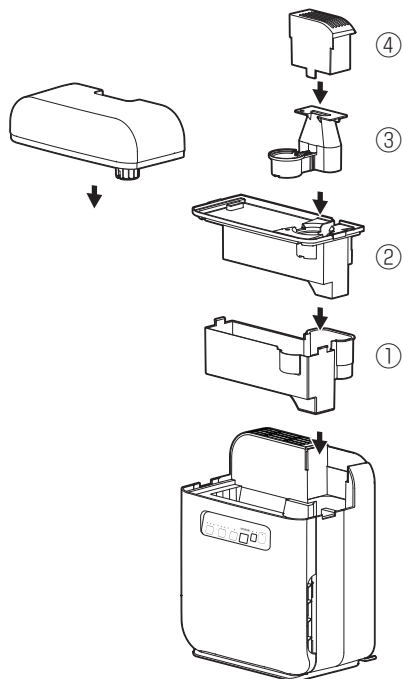
- ・破損しないように注意してください。



- ・組み立てる前によく乾かしてください。

5 元どおりに組み立てる

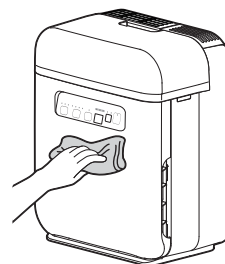
- ・①カップ、②加湿トレー、③安全カバー、④蒸気口キャップ、水タンクの順に取り付けてください。



- 部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れのないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

■本体 1か月に1回程度

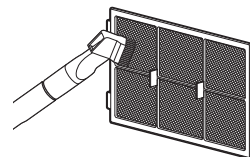
- ・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る



- 本体には水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

■プレフィルター 1か月に1回程度

- ・プレフィルターにごみがたまると風量が低下します。フロントパネルを開け、プレフィルターを取り出して、掃除機などでごみを吸い取ってください。



※プレフィルターが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。



- 集塵フィルターはお手入れできません。掃除機で吸ったり、水洗いしたりしないでください。強く押したり、まるめたりしないでください。破損するおそれがあります。集塵フィルターは、破れると清浄効果が失われます。

■加湿ヒーターのお手入れ

お手入れランプが点灯したら

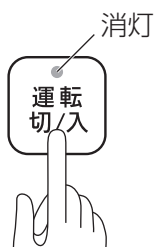
使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されてヒーターに付着します。これが固まると、加湿量が低下したり、ヒーターの温度が上がりすぎて安全装置が働いてしまうなどの原因になります。

- ・お手入れランプが点灯したら、ヒーターのクエン酸洗浄を行ってください。

お手入れ
点灯

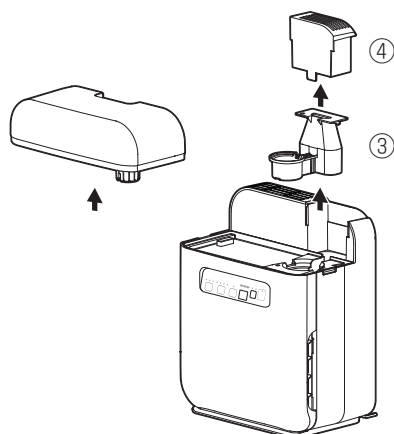
- ・お手入れランプが点灯していなくても、ヒーターのクエン酸洗浄は可能です。

1 運転 切／入 ボタンを押して電源を切る



- 加湿器の使用直後は、加湿器内のヒーターや水は熱くなっています。冷めるまでしばらく待ってからお手入れしてください。

2 水タンク・④蒸気口キャップ・③安全カバーの順に取り外す

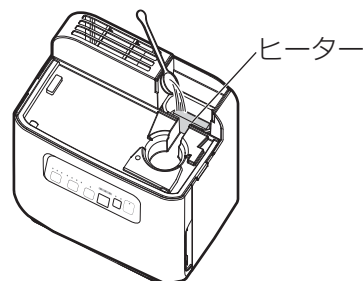


- 水タンクを勢いよく引き上げないでください。水タンクの底やタンクキャップに付いた水が飛び散って周囲がぬれることがあります。
- 操作パネルに水が付いたときは、すぐに拭き取ってください。

3 クエン酸を投入する

- ・ヒーター部分に、クエン酸**5g**（小さじ 約1）を投入してください。

※クエン酸は、薬局・ドラッグストアなどで市販されているものをご用意ください。



4 ③安全カバー・④蒸気口キャップの順で元に戻す

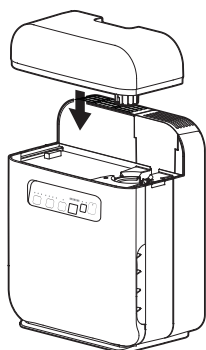


- 部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れのないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

お手入れ つづき

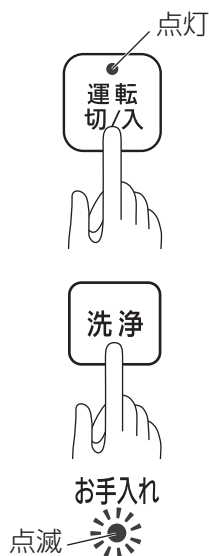
5 水タンクに給水して、取り付ける

水タンクに満水まで給水してから取り付けてください。



6 運転 切/入ボタンを押してから、洗浄ボタンを押す

- ・ 約2時間ヒーターに通電して洗浄します。
- ・ 洗浄中は**お手入れ**ランプが点滅します。
- ・ 洗浄中でも蒸気は出ます。



- ・ 洗浄中でも空気清浄機の運転は停止しません。
- ・ 洗浄中は加湿器の操作はできません。
- ・ 途中で洗浄を停止するには、**運転 切/入**ボタンを押して電源を切ってください。
- ・ 洗浄が終了すると、**お手入れ**ランプが消灯し、ブザーが鳴ってお知らせします。

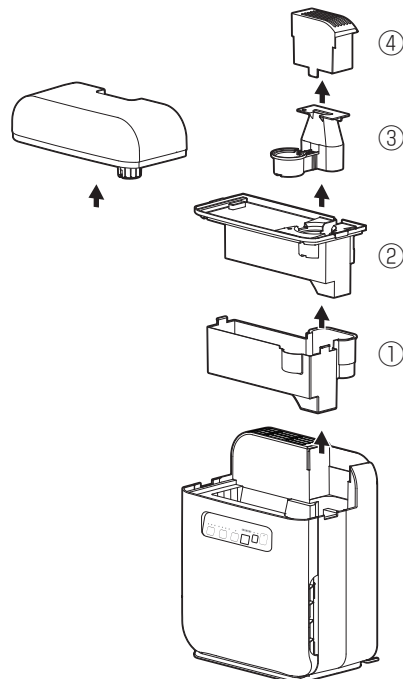
お手入れ
消灯



●使用した水溶液や加湿器内部は熱くなっているため、必ず電源を切り、十分に冷えてから、排水やお手入れをしてください。

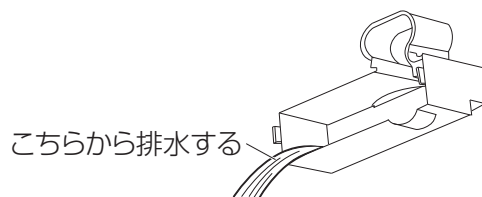
7 水タンク・④蒸気口キャップ・③安全カバー・②加湿トレー・①カップの順に取り外す

※水がこぼれないように、カップはまっすぐに静かに引き上げてください。



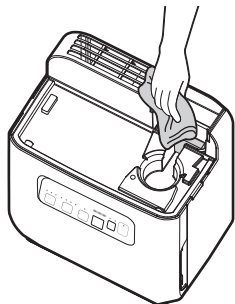
8 カップに残っている水を捨てる

- ・ カップにはヒーター用の穴があいています。穴から水がもれないように、穴の反対側から排水してください。



9 本体に残った水を拭き取る

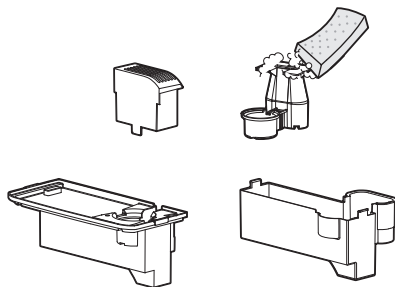
- ティッシュペーパー・キッチンペーパーなどで、よく拭き取ってください。
- ヒーターに汚れが残っている場合は、拭き取ってください。
- 組み立てる前によく乾かしてください。



10 蒸気口キャップ・安全カバー・加湿トレー・カップをスポンジなどで洗う

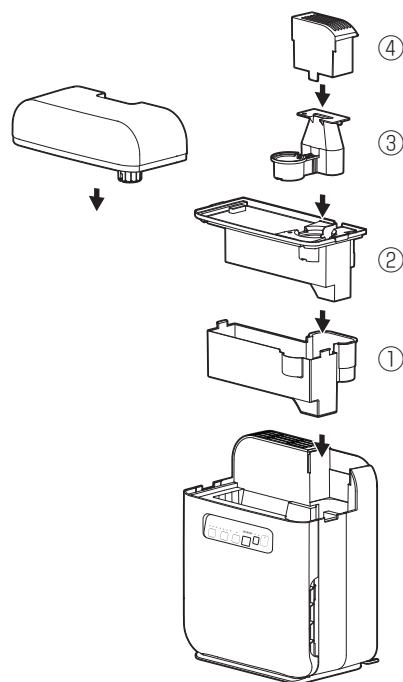
- 洗った後、水でよく流し、水気を切って、よく乾かしてください。

※ 破損しないように注意してください。



11 元どおりに組み立てる

- ①カップ、②加湿トレー、③安全カバー、④蒸気口キャップ、水タンクの順に取り付けてください。



注意

- 部品を取り付けるときは、必ず順番を守り、付け忘れのないようにしてください。取り付けが正しくないと、水もれや誤動作の原因になります。

※ 1回の洗浄で汚れが取りきれない場合は、もう一度同じ手順で洗浄を行ってください。(→P15～17)

お手入れ つづき

■ 空気清浄機フィルターの交換

1年に1回

空気清浄機の集塵フィルターは消耗品です。約1年を目安※1に新しいものに交換してください。

※1 たばこを1日平均5本吸った場合（「(一社) 日本電機工業会規格JEM1467」に基づく試験により算出）

※ 設置場所や使いかたによっては交換時期が早くなることがあります。

- ・ 別売品（右記）を購入し、8ページの「準備」の手順にしたがって交換してください。
- ※ 交換するときは、汚れが飛び散らないように、新聞紙などを敷いて行ってください。

■ フィルターの廃棄について

古いフィルターは自治体の取り決めにしたがって処理してください。

集塵フィルターの材質

ポリプロピレン、ポリエステル

別売品

■ 集塵フィルター（HEPAフィルター）

品番：RSA-401HF

- 別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

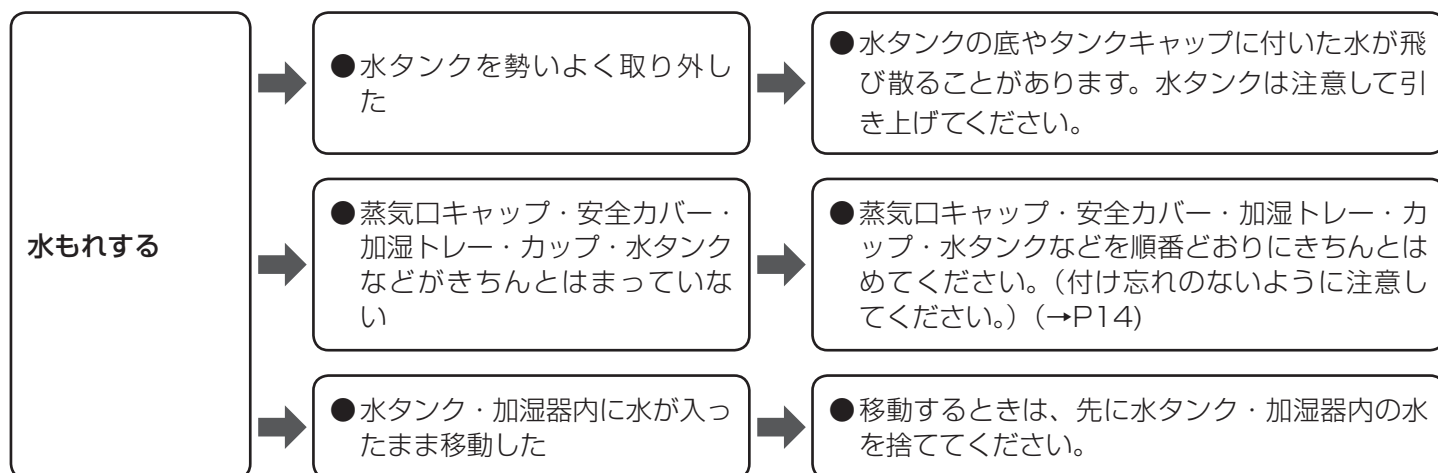
故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれてない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空気清浄機から風が少ししか出ない	●集塵フィルターが透明ポリ袋に入ったままになっている	●集塵フィルターを透明ポリ袋から出して、正しく取り付けてください。(→P8)
音が大きい		
においや煙が取れない	●集塵フィルターを付け忘れている	
集塵フィルター交換時期に達する前に、においや煙が取れにくくなった	●空気中の汚れが通常の家より多い環境で使っている	●早めに集塵フィルターを交換してください。(→P18)
振動する	●不安定な場所に設置してある	●水平で安定した場所に設置してください。
加湿されない	●加湿モードが、切になっている(節電・標準・うるおい・連続とも消灯)	●加湿ボタンを押して、節電、標準、うるおいあるいは連続を選んでください。
	●目標湿度に達している	●節電は50%、標準は60%を目標湿度にしています。さらに加湿したいときは、節電→標準→うるおい→連続と、加湿モードを切り替えてください。
加湿されない エラー表示 E1	●内部回路の故障を検知した	●使用を停止し、修理専用コールへご相談ください。
湿度が正しく表示されない エラー表示 E2	●温湿度センサーが故障した	
加湿されない エラー表示 E3	●ヒーターが故障した	
風が出ない エラー表示 E4	●モーターの異常を検知した	
	●ファンの異常を検知した	

故障かな？と思ったら つづき

電源が入らない エラー表示 E0	●電源の異常を検知した	●電源プラグを抜き、異常がないことを確認してから別のコンセントに差し込んでください。
加湿されない (給水ランプが点灯している)	●水タンクの水を使い切った	●水タンクに給水してセットし、加湿器内に水が供給されたら、 加湿 ボタンで加湿のモードを選んでください。(→P10)
	●水タンクがきちんとセットされていない	●水タンクをきちんとセットしてください。
加湿ボタンを押しても給水ランプが消灯しない (加湿しない)	●水タンクから加湿器内に水が十分供給されていない	●水タンクに満水まで給水し、本体にセットしてから、タンクキャップのゴボゴボ音が消えるまで待って、 加湿 ボタンを押してください。
電源が切れた	●転倒時安全防止装置が働いた	●水平で安定した床の上に設置して、再度電源を入れてください。
操作パネルのランプが暗い	●ランプの明るさが調節されている	● 空気清浄 ボタンを3秒間長押しして、通常の明るさに切り替えてください。(→P11)
湿度が上がらない	●部屋が加湿器の適用床面積より広すぎる	●加湿器の適用床面積以内で使用してください。(→P22)
	●窓やドアが開いている	●窓やドアを閉めて使用してください。
においがする	●本体や水タンク内部が汚れている	●本体や水タンクをお手入れしてください。(→P12～18)
	●水が古くなっている	●水タンクをお手入れして、新しい水を入れてください。(→P12)
蒸気の出る量が少なくなった	●加湿ヒーターが汚れている(水あかなどが付着している)	●加湿ヒーターをお手入れしてください。(→P15)
	●蒸気口キャップ・安全カバー・加湿トレー・カップ・水タンクなどがきちんとはまっていない	●蒸気口キャップ・安全カバー・加湿トレー・カップ・水タンクなどを順番どおりにきちんとはめてください。(付け忘れのないように注意してください。)(→P14)



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
消費電力	空気清浄（静音）	9W	10W
	空気清浄（標準）	11.7W	13.6W
	空気清浄（急速）	17.5W	24.7W
	空気清浄（急速）+加湿	377W	377W
風量	空気清浄（静音）	0.52m ³ /分	0.51m ³ /分
	空気清浄（標準）	0.90m ³ /分	0.89m ³ /分
	空気清浄（急速）	1.28m ³ /分	1.59m ³ /分
運転音	空気清浄（静音）	26dB	24dB
	空気清浄（標準）	33dB	33dB
	空気清浄（急速）	42dB	45dB
	空気清浄（急速）+加湿	42dB	45dB
空気清浄機の適用床面積※1		10m ² （6畳）	
清浄時間		8畳を37分（「急速」運転時）	
加湿器の適用床面積（目安）	木造和室	11m ² （7畳）	
	プレハブ洋室	18m ² （11畳）	
加湿量（最大）		約400mL / h	
連続加湿時間※2		約6時間	
水タンク容量		約2.4L	
外形寸法（電源コードを除く）		幅297×奥行188×高さ370mm	
質量（水含まず）		約4.3kg	
電源コード長		1.8m	

※1「急速」運転時（（一社）日本電機工業会規格JEM1467による）

※2 最大加湿量で連続加湿した場合

※ 適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

空気清浄機能付加湿器 RSA-401

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（フィルターなど）を除く	
お 客 様	お名前		※ 販 売 店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
		住所・店名	
		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましては次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohtyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

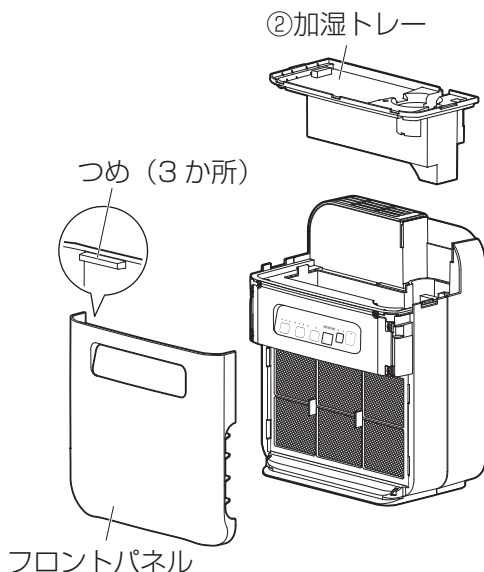
<https://www.irisohtyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。

加湿トレーの取り外しについて

- ・ 加湿トレー (②) をフロントパネルのつめで押さえるように変更しました。
- ・ 加湿トレー (②) を外すときは、必ず、先にフロントパネルを外してください。



※ 組み立てるときは、逆に、加湿トレー (②) を取り付けてから、フロントパネルを取り付けてください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohtyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0120-311-564

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohtyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください